

## **Ebola-South American Countries**

エボラウィルスの流行及びそれに伴う南米諸国への影響を鑑み、SAPIC(South American P&I Correspondents)加盟コレスポンデントは南米諸国における状況に関するサーキュラーを発行することを決定しました。各国状況の詳細は以下の通りです。

### **a) ARGENTINA**

Centro de Navegacion (同国 local agents のグループ)発行のサーキュラーによると、エボラウィルス感染地域から来る船舶に対し Pilot が取るべき予防措置に関して Sanitary Authorities から明確な指示がないことに鑑み、River Plate で Pilot サービスを提供する Pilots 会社は、エボラウィルス感染地域(Guinea, Liberia, Nigeria, Sierra Leone)寄港から 30 日以上(註：現在は 21 日に短縮されています)経過するまでは同地域に寄港した船舶への Pilot の配乗を行わないことを決定しています。

一方、Centro de Navegacion は Sanitary Authority に対し、感染地域から来る船舶への対処に関する措置を定めるよう要求する書状を出しています。

上記状況から、エボラウィルス感染地域から来る船舶は、River Plate エリア到着前に予め local agents に相談することをお勧めします。

なお、エボラウィルス感染地域から来る船舶は、リスク分析によって Pilot 乗船前もしくは入港前に検査を受けなければならないとする通達が Health Authority より出されています。

情報提供 : **Pandi Liquidadores SRL, Buenos Aires**

### **b) BRAZIL**

#### **1) Port of Santos**

現在のところ、アフリカから来る船舶に対して特段の措置は取られておらず、International Health Regulation に規定されている手続が取られていますが、Guinea, Liberia, Sierra Leone 及び Nigeria から来る船舶はより厳しい検査の対象になる可能性があります。

伝染病であるため、エボラウィルスは通報が義務付けられている疾病であり、感染あるいは感染の疑いの通報を怠った場合、関連の衛生規則違反に加え刑事犯罪にもなるので、感染もしくは感染が疑われるケースは速やかに通報する必要があります。

情報提供 : **Representacoes Proinde Ltda., Santos**

#### **2) Port of Paranagua**

2014 年 8 月 18 日に現地 National Health Surveillance Agency(ANVISA)主催の public meeting が開催され、以下の情報が提供されました。

現在のところアフリカから来る船舶に対する検疫は課せられていないが、入港許可取得のためには通常の

手続きを取る必要がある(最初の Brazilian port 到着の 48 時間前に本船上の health condition を通知すること)。但し、西アフリカの感染地域から来る船舶は通常の有線による入港許可は認められず、Health Authority Inspector による検査を受ける必要があり、感染者がいないことが確認された後入港が許可される。

ANVISA は船員向けに以下の案内書を発行しています。

**Ebola**

**To Captains e crew members**

The Brazilian Health Surveillance Agency - ANVISA informs that an Ebola outbreak is occurring in some African countries.

***Be aware for the following symptoms, especially if any crew member had circulated in the last 21 days in Nigeria, Sierra Leone, Liberia or Guinea: fever, weakness, muscle pain, headache and sore throat, which are usually followed by vomiting, diarrhea, pruritus, and in some cases hemorrhage.***

In such cases, report to health authorities in Brazil so they can evaluate and help you with guidelines and measures.

**Transmission**



The transmission only occurs through direct contact with body fluids (blood, feces, sweat, semen, saliva, urine, etc.) of a sick person (live or dead), an infected dead animal, or by contact with contaminated objects (needles, sheets or dirty clothes, etc.)

The virus is not spread by air, water, food, or vectors, and is easily killed by soap, bleach, sunlight or drying, surviving only a short period of time on surfaces that are exposed to sun or dry.

**Recommendation to Captain**

In case of anyone aboard - who has circulated in the last 21 days in Nigeria, Sierra Leone, Liberia or Guinea - presents any symptoms listed above the Captain must report this situation immediately to the Brazilian health authorities. The Captain should also isolate the patient in his/her cabin, offering all support of water and food needed, and designate only one person (physician or other crew member) to serve him/her until disembarkation as instructed by local health authorities. Follow the recommendations of the local health authority about cleaning, waste removal, laundry, etc.

Further information: 0800 6429782

  **ANVISA**  
Agência Nacional de Vigilância Sanitária

Ministério da Saúde      Governo Federal

情報提供 : Van Herp & Frumento (P&I Services) Ltda., Paranagua

#### c) CHILE

情報収集中。

#### d) MEXICO

Guinea, Liberia, Sierra Leone 及び Nigeria におけるエボラウィルスの状況に関し、Mexican Health Ministry より以下の通知がなされています。

エボラウイルスは、発熱、極度の衰弱、筋肉痛、頭痛、喉の痛み、嘔吐、下痢、発疹、腎臓及び肝臓不全を伴う急性の深刻な症状を引き起こす。また、致命的な内外出血を引き起こす場合もある。

ウイルス感染はアフリカ大陸、特に **Guinea**、**Liberia**、**Sierra Leone** 及び **Nigeria** で発生している。アフリカ大陸以外では、**United States** 及び **Spain** で 2 件ずつ感染が報告されている。当該患者は治療のためアフリカから本国に移送され隔離されているため、感染が拡大するリスクはない。

**World Health Organization (WHO)** はプレスリリースを発表し、その中で西アフリカにおけるエボラウイルス流行を異常事態とし、他国の公衆衛生に対する危険であると述べている。また、**WHO** は現在の流行に対処するための勧告を発表している。

**Mexican Ministry of Health** は、**Official Website** で 8 月 1 日に発表した予防措置及び感染国への渡航自粛を勧告した **Travel Preliminary Notice** を再度勧める。

感染国へ渡航する場合には以下の対応を勧める。

- ・感染者の血液及び体液に触れないこと。
- ・感染者の血液及び体液が付着した器具に触れないこと。
- ・感染の恐れがある動物(猿、レイヨウ、蝙蝠、チンパンジー)に触れないこと。
- ・感染の恐れがある遺体や動物の死骸に触れないこと。
- ・渡航後 21 日以内に発熱、筋肉痛、喉の痛み、下痢、胃痛、目の充血がある場合には、即座に治療を受けること。

**Mexico** 到着まで症状が続く場合、客室乗務員または入国管理官に申告すること。

症状の申告は入国を禁止する目的ではなく、治療を提供する目的である。

なお、**Mexico** でのエボラウイルス感染また感染の疑いは報告されていません。この点、2014 年 8 月 7 日に **Mexican State of Coahuila** の **Ministry of Health** は **Mexican News Agency** を通じ同国でのエボラウイルス感染ケースはない旨のプレスリリースを発表しています。

<http://www.notimex.com.mx/acciones/verNota.php?clv=158795>

**Coahuila** の **Ministry of Health** によるプレスリリースは以下の通りです。

Saltillo, Coahuila, Thursday, August 7, 2014

**Coahuila** の **Ministry of Health** は以下の通り発表する。

2014 年 8 月 6 日、**Mexico City** 出身の学生がエボラウイルスに感染した疑いがあるとのニュースが広まった。同ニュースは **Coahuila** の新聞により掲載された。即座に当局は調査を実施し、誤報であることを確認した。

**Mexico** におけるエボラウイルスの広報担当である **Dr. Cuitlahuac Ruiz Matus** は同国でのエボラウイルス感染ケースはないと述べています。

**Coahuila** の **Ministry of Health** は **National Health System** に属しており、**Federal Government** とともに監視を続けています。

Mexican Ministry of Health による news release、facts sheets 及びその他は次のウェブサイトで確認できます。[www.salud.gob.mx](http://www.salud.gob.mx)

情報提供 : P&I Services Mexico S.A. De C.V/, Mexico

#### e) VENEZUELA

世界的に問題となっているエボラウィルスの流行に対し、ラテンアメリカ諸国も同地域への拡散防止のための対応を取っています。エボラウィルスの流行は 2014 年 3 月に始まり、8 月初旬に WHO は緊急事態宣言を行いました。最近、Pan American Health Organization (PAHO) の研究者である Miguel Aragon はアメリカ諸国はエボラウィルスの脅威を軽視してはいけないと警告しています。

海運分野においては、Minister of Water and Aerial Transport (MPPTAA) の Press statement によると、2014 年 8 月 25 日より、エボラウィルス感染国から寄港する船舶は、先ず錨泊地の特別ゾーンに行き Health Authority による検査を受けなければならず、その後 Health Authority は船舶を隔離ゾーンに行かせるか着岸を許可するか決定するとされています。船舶代理店に対して書面での指示や通達はだされていないものの、全港で当該措置が取られている模様です。

2014 年 8 月 17 日に Ministry of Public Health の広報官は同国でのエボラウィルス拡散リスクは小さいと宣言し、Aragua 州で原因不明の疾病が確認された後、9 月 16 日に Minister of Public Health は同国でのエボラウィルス感染ケースの存在を否定しました。

エボラウィルス感染が確認又は疑われるケースは発生していないものの、現在同国ではチクングニア熱の急速な流行が問題になっています。チクングニアウィルスは昆虫に寄生するウィルスで蚊によって感染が広がります。チクングニアウィルスに感染すると、高熱及び関節の痛みを発症します。その他の症状としては、筋肉の痛み、頭痛、吐気、倦怠、発疹があります。チクングニア熱はデング熱と同様の症状を引き起こすため、デング熱が発症している地域ではデング熱と誤診される場合があります。

チクングニア熱の最初の感染報告は 2014 年 6 月 6 日ですが、その後 4 か月で 398 名の感染、1239 名の感染疑いが確認され、3 名が死亡しましたが死亡者は他の疾患を患っていた模様です。新たな感染が引き続き報告されており、感染者数は増える見込みです。また、デング熱と誤診されている可能性もあり、実際の感染者数はより多いと推測されます。ウィルスによる疾病であるためチクングニア熱に対するワクチンは存在せず、以下の予防措置が推奨されます。

- ・デング熱やマラリアと同様に、同国滞在中は蚊に刺されるのを避けること。
- ・室内にいる間はエアコンの効いた部屋に留まり、外出する際は防護服を着用するとともに防虫剤を使用する。
- ・数日間の潜伏期間があり、短期間滞在する船舶の場合、症状が出るころには出港している可能性が高いので感染が疑われる場合には即座に医師の診察を受けること。出港後に症状が出た場合には緊急に船舶代理店もしくはコレスポンデントのアシストを求めること。

情報提供 : Globalpandi, S.A., Puerto Cabello, Venezuela

Tel: +58-242-3641801/3641026/3641798

Fax: +58-242-3640998

E-mail: [mail@globalpandi.com](mailto:mail@globalpandi.com)

Webpage: [www.globalpandi.com](http://www.globalpandi.com)

AOH: +58-412-4210036

Contact: Mr. Jose Alfredo Sabatino Pizzolante

## f) URUGUAY

同国 Pilots は、エボラウイルス流行国から来る船舶について当該港出港後 21 日以上経過するまでは乗船しないことを決定しています。

Sanitary Authorities は、エボラウイルス感染または疑いがあるケースに対する措置及び指示を出しています。

Sanitary Authorities により出された Contingency Plan は以下の通りです。

### “Objective

The actions of sanitary and epidemiological controls have as purpose to early detect the infect contagious diseases arriving to the national territory.-

## PLAN OF CONTINGENCY

In case of any vessel coming to Uruguay with one or more passengers or crewmembers with symptoms compatible with EVD (sudden fever, intense weakness, muscle pain, headaches, sore throats), the following protocol will be applied:

### 1. If detected during the voyage:

As soon as the Master is aware of the fact that a crewmember on board has symptoms compatible with EVD, he should immediately notify to the Control Station/Agents, requesting that a message be passed to the Coast Guard. Said message should include:

- Signal call number of the vessel
- Prior called port
- Destination port
- ETA
- Number of affected people
- Number of people on board



- And the expression “transmissible disease”

The Control Station must notify to:

- Sanitary authorities
- Port authorities
- Migration authorities
- Vessel’s Agents
- Customs’ Authorities

The above authorities will meet immediately at the Coast Guard offices and the Contingency Plan against EVD will be activated, in order to coordinate the procedures to be applied.-

Initially, the vessel will be anchored in a remote area as far from other vessels as possible, and she will keep flag Q at the top.-

Nobody will be allowed to have access to the vessel, without authorization from the Coast Guard.-

The Coast Guard will provide with an appropriated vessel to carry the Sanitary Authorities, who once having the personal protective equipment (PPE) could board and contact with vessel’s authority in order to know in detail the situation on board and, mainly, the status of the passengers/crew with symptoms.-

Any passenger or crewmember with the above mentioned symptoms and clinical signs, will be authorized to disembark and once ashore will be moved to a health institution by means of an ambulance prepared for such purposes, for his medical and epidemiological control. In the meantime the other passengers and crewmembers will remain on board the vessel, awaiting orders from Sanitary Authorities.-

Migration Authorities will control the documentation, with EPP, on board or where ordered by the Coast Guard.-

If confirmed the person is suspected with EVD, the other passengers and/or crewmembers should complete the “Voyager Health Statement”.-

After the evaluation, if the person is considered suspected with EVD, the contacts should be established as per the protocol “Evaluation of Risks for diseases contracted during the voyage”, which considers as contact all the passengers/crewmembers on board. The contacts should be evaluated in the area assigned within the port. In case of a transit passenger/crewmember, the country of destination should be notified for monitoring the person during 21 days. For those established in the own

country, same should be monitored during 21 days, according to WHO's requirements.-

The crew considered with suspected cases, will be moved to a healthy institution, in a special ambulance, which will be at the pier.-

The vessel will remain under sanitary observation until disposed by Sanitary Authority. Same could be released only after authorized, and its hygiene and disinfection (carried out according to WHO's dispositions) be evaluated and approved subsequently.-

If from the medical and epidemiological evaluation, it does not arise any sign of risk, which could classify same as suspected of EVD, the Sanitary Authority will release the vessel, its crew and passengers and will issue the corresponding Certificate, taking out the flag Q.-

## 2. If the Owners are aware of the situation previous to departing

The Agents will notify to the Coast Guard, which will inform the Sanitary Authority, implementing the necessary measures for the case, impeding the departure of the suspect, establishing contacts and fulfilling the same proceeding as in numeral 1.-

## 3. Vessels coming from countries considered of High Risk

The Sanitary Authorities could dispose of a point of observation for disembarking the passengers.-

## 4. The passengers departing from a country considered of High Risk

The Agents will notify to the Coast Guard, which will put in notice to the Sanitary Authorities.-

The Sanitary Authorities could dispose of a point of observation for disembarking the passengers.-

The cleaning and disinfection of environ areas are important compounds in the control of infections and the same general regulations as stated by WHO should be applied for a possible case of EVD. The ambulance should be cleaned and disinfected with a hypochlorite solution at 0.05%. Regarding the vessel, as per WHO requirements, the disinfection will be carried out with products compatible with the area to be cleaned.-

The people in charge of the cleaning, as well as those in contact with the suspected person, should employ the PPE, which consists of waterproof gloves, waterproof gowns, mask N95, ocular protectors and closed shoes.-“

情報提供 : **Chadwick Weir Navegacion SA, Montevideo**

以上